

# 原子力防災訓練に伴う鉄道、船舶、航空機の計画 平成26年10月18日(土)

※訓練の進行状況、天候等により予告なく変更する場合があります。

## 1 JR境線(臨時列車)

※訓練参加者以外は乗車いただけません。

駅名	境港駅	高松町駅	米子空港駅	大篠津町駅	米子駅	御来屋駅
時間	8:42	8:50	9:06	9:10	9:47	10:19

## 2 船舶(海上自衛隊 多用途支援艦「ひうち」、境海上保安部 巡視船「さんべ」)

8:15~8:50 船舶による避難を想定し、竹内岸壁に接岸している艦船への乗船訓練を行います。

## 3 航空機(航空自衛隊 C-1型輸送機)

9:30 真誠会セントラルクリニックの入院患者を美保基地へ救急車で搬送開始  
9:50 美保基地へ到着し、C-1型輸送機へ収容  
10:10 美保基地を離陸  
10:30 鳥取空港に着陸し、救急車に入院患者を収容(12:00 美保基地に着陸)

## 4 陸上自衛隊 大型ヘリ(CH-47)、中型ヘリ(UH-1)

<CH-47>  
8:55 避難が遅れた住民が美保基地に到着  
9:25 美保基地を離陸  
9:35 名和総合運動公園に着陸  
9:40 名和総合運動公園を離陸

<UH-1>  
8:20 避難が遅れた住民が米子駐屯地に到着  
8:45 米子駐屯地を離陸  
8:55 名和総合運動公園に着陸  
9:05 名和総合運動公園を離陸

### 原子力防災の特徴

#### ○原子力災害を未然に防ぐ

原子力事業者からの報告聴取や現地確認などを行い、原子力災害の予防措置が適切に行われているか確認します。また、**モニタリング体制**や**防護資機材を整備**するなど、迅速な対応ができるよう準備します。

#### ○災害発生時には

警戒事象などが発生した場合は、**モニタリングの強化**を行います。さらに必要に応じて、**屋内退避**や**避難**などの対応を行います。

#### ○広域住民避難計画の策定

県は、災害発生時の住民避難要領をまとめた鳥取県住民避難計画を策定しました。多様な手段による**情報伝達**、**段階的避難**や**スクリーニング**の実施、**施設入所者**や**入院患者の避難**などについて、この計画に基づき迅速な対応を行います。

### 避難が必要となったら

#### ①正しい情報入手しましょう

県・市からテレビ、ラジオ、防災行政無線、広報車などの手段により避難指示が発令されます。

#### ②ビニールカップ等を着用しましょう

身体の表面の汚染を防ぐため、フード付きのビニールカップ、ジャンパー等を着用する等の防護対策をとりましょう。

#### ③マスクをして内部被ばくを防ぎましょう

マスクをしたり、水で濡らして固くしぼったハンカチやタオルで口や鼻を覆いましょう。

#### ④マイカーやバス等で避難しましょう

マイカーによる避難のほか、一時集結所に集合し、バス等で避難しましょう。また、避難の際は、近所に声かけしましょう。

# 平成26年度 鳥取県原子力防災訓練 (島根原子力発電所対応)

平成26年10月18日(土)午前7時~15時

## 1 背景等

- ・福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、国において原子力規制委員会が設置されました。また、原子力災害特別措置法等が改正され、原子力施設から概ね半径30kmの地域をUPZ(緊急時防護措置を準備する区域)とすることが定められました。
- ・これを受けて、本県では、境港市全域と米子市の一部地域が島根原子力発電所に係るUPZに定められ、重点的に原子力防災対策を講じることになりました。
- ・今回の訓練は、2県(鳥取県、島根県)6市(米子市、境港市、松江市、出雲市、安来市、雲南市)の合同訓練として実施します。

## 2 訓練目的

国における原子力防災体制の見直しに合わせ、原子力緊急時における防災関係機関相互の連携による**防災対策の確立**及び防災業務関係者の**防災技術の習熟**を図るとともに、**鳥取県広域住民避難計画等の検証**を目的として、本訓練を行います。

今回の訓練は、次の項目を**主要訓練項目**として実施します。

- ・より実態に即したスクリーニング等の実施(避難住民への総合支援)
- ・障がい者施設入所者等の避難
- ・多様な避難手段の検証(鉄道、船舶、飛行機等)
- ・わかりやすい住民等への広報
- ・避難者の緊急輸送

### 訓練の見学について

鳥取県が実施する次の訓練会場については、見学可能です。希望される方は、直接会場にお越しください。なお、見学される際は、会場担当者の指示に従ってください。

- ①本部等運営訓練
- ③緊急時モニタリング訓練
- ⑦スクリーニング及び避難支援ポイント設営訓練
- ⑩県営広域避難所開設訓練
- ⑫住民避難訓練(海上自衛隊艦船への乗船を除く)



### お願い

訓練当日は、防災行政無線・広報車などを使って広報訓練を行います。また、バス、列車、船舶、航空機、ヘリコプター等が訓練参加します。皆様のご理解とご協力をお願いします。

### 問い合わせ先

鳥取県危機管理局原子力安全対策課  
米子市総務部防災安全課  
境港市市民生活部自治防災課

電話 0857-26-7973  
電話 0859-23-5337  
電話 0859-47-1071



**①本部等運営訓練  
(初動対応訓練)**  
(7:00~9:30)

鳥取県庁(災害対策本部室)  
西部総合事務所( " )  
米子市役所( " )  
境港市役所( " )  
防災業務関係者の応急活動体制及び指揮系統の訓練を行います。緊急時には、災害対策本部を設置し、応急活動を行います。

**②オフサイトセンター  
(OFC)訓練**  
(8:30~10:00)

鳥根県原子力防災センター  
(OFC)

原子力災害時の応急対策拠点となるオフサイトセンターでの活動訓練を行います。  
災害発生時には、OFCで国、関係省庁、地方自治体等による対策会議が開催されます。

**③緊急時モニタリング  
訓練**  
(7:00~12:00)

衛生環境研究所 他

鳥取県モニタリング本部の設置、環境放射線の測定等に関する訓練を行います。  
災害発生時には、モニタリング専用車等も活用し、放射線の測定等を行います。

**④学校等の  
避難訓練**

米子市、境港市内

各学校と教育委員会等の通信連絡訓練や学校等での屋内退避等の手順確認を行います。  
児童、生徒、園児等の安全を確保します。

**⑤初期被ばく  
医療機関の訓練**  
(8:00~10:15)

博愛病院

避難住民(境港市)のうち傷病者を初期被ばく医療機関に搬送し、スクリーニングを行ったのちに必要な治療等を行います。  
【陸上自衛隊】

**⑥安定ヨウ素剤の  
調剤、輸送訓練**  
(7:30~12:30)

米子市、境港市内  
済生会境港総合病院

安定ヨウ素剤を事前に服用することで、甲状腺への放射性ヨウ素の取り込みが抑制されます。  
原子力発電所の事故の状況によって、国から配布及び服用の指示があります。  
【鳥取県薬剤師会、西伯病院】

**訓練実施場所及び訓練内容**

平成26年10月18日(土)

時間	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00
			①本部等運営訓練			
			②オフサイトセンター訓練			
			③緊急時モニタリング訓練			
			⑤初期被ばく医療機関の訓練			
			⑥安定ヨウ素剤の調剤、輸送訓練			
			⑦スクリーニング及び避難支援ポイント設営訓練			
			⑧県営広域避難所開設			
			⑨障がい者施設の避難訓練			
			⑩避難誘導・交通規制・道路表示等訓練			
			⑪病院入院患者の避難訓練			
			⑫住民避難訓練(広報・情報伝達)			



**⑧県営広域避難所  
開設訓練**  
(9:00~11:00)

県立鳥取商業高校

避難指示が発出された場合の避難先となる広域避難所の設置及び避難所運営体制の訓練を行います。  
災害発生時は、大規模な避難が想定され、県内に多数の避難所開設が必要となります。

**⑨障がい者施設の  
避難訓練**  
(8:00~15:00)

さかいみなとホーム

障がい者グループホームの入所者等は、避難にあたりきめ細やかな対応が必要です。  
今回は、事業所の策定した避難計画に基づき、関係先との情報伝達、避難誘導等の訓練を行います。

**⑪病院入院患者の  
避難訓練**  
(8:00~12:00)

真誠会セントラルクリニック

入院患者の避難受入先が鳥取県東部に確保できたと想定し、航空自衛隊のC-1型輸送機で搬送する訓練を行います。  
入院患者については、避難の実施による健康リスクに注意が必要です。  
【航空自衛隊、西部消防局、東部消防局】

**⑦スクリーニング及び避難  
支援ポイント設営訓練**  
(9:00~12:00)

名和農業者  
トレーニングセンター

避難される住民の方の体表面に放射性物質の付着の有無を検査するとともに、総合的な支援(情報提供等)を行います。  
県の計画では、避難経路上でスクリーニングを行うことを計画しています。  
【陸上自衛隊、自衛隊鳥取地方協力本部、鳥取県診療放射線技師会、NTT西日本鳥取支店、ドコモCS中国鳥取支店、ソフトバンクモバイル(株)、日本自動車連盟鳥取本部、原子力緊急時支援・研修センター福井支所】

**⑫住民避難訓練  
(広報・情報伝達)**  
(7:30~13:00)

米子市内、境港市内

一時集結所での安定ヨウ素剤の服用、列車・船舶・ヘリコプター、バスによる住民避難訓練を行います。また、在宅の避難行動要支援者や聴覚障がい者、外国人の避難訓練も行います。  
災害発生時には、国の指示に基づき防護措置(屋内退避、避難等)を行います。  
【陸上自衛隊、海上自衛隊、境海上保安部、JR西日本、鳥取県薬剤師会、鳥取県国際交流財団、鳥取県西部圏域聴覚障害者災害対策連絡会、隊友会鳥取県西部地区会】

訓練実施時間